

ちよつと一言

【根】→物事の基礎・土台本来の性質 (小学館 デジタル大辞泉より抜粋)

震災以降、南相馬をはじめ被災地全体で市民活動は活発化してきた。大きな被害にニーズが多様化している事や震災が切っ掛けとして「自分に出来る事」を考え、目的を持って活動を立ち上げた人が多いのが要因だと思える。

しかし最近「あの団体は嫌いだ」「あの人と一緒にはやりたくない」等と語る人を多く見かけるようになった。時間とともに解決に向かう問題や、はたまた出口の見えない問題、それらが多層化して立ちふさがる現状に向き合っているうちに本来の目的-活動の【根】を見失っているのではないかと思う。

自分自身や団体活動の【根】は何だろう？当法人は「子ども支援」を核の一つとしているが、活動の中でも人間関係や対外的な問題が発生する事は少なからずある。

しかしながら、今だから思い出したい。あの日動き出した時の気持ちを。「自分がやらねば誰がやる？」と奮い立った日の事を。

認定 NPO 法人フロンティア南相馬 松村 荘次郎

第13回 「公益信託うつくしま基金」助成金募集説明会

「公益信託うつくしま基金」は、県内のボランティアや市民活動団体、NPO法人などの活動を応援するためつくられた助成金制度です。

過去多くの団体が基金の助成をうけて、各地域で活動の実績をあげています。

【募集コース】

- スタートアップ支援コース 100年も…いきいきうつくしま実践コース
- 発展事業支援コース 自治体との協働コース

この募集要項の説明会をおこないますので是非ご参加下さい。

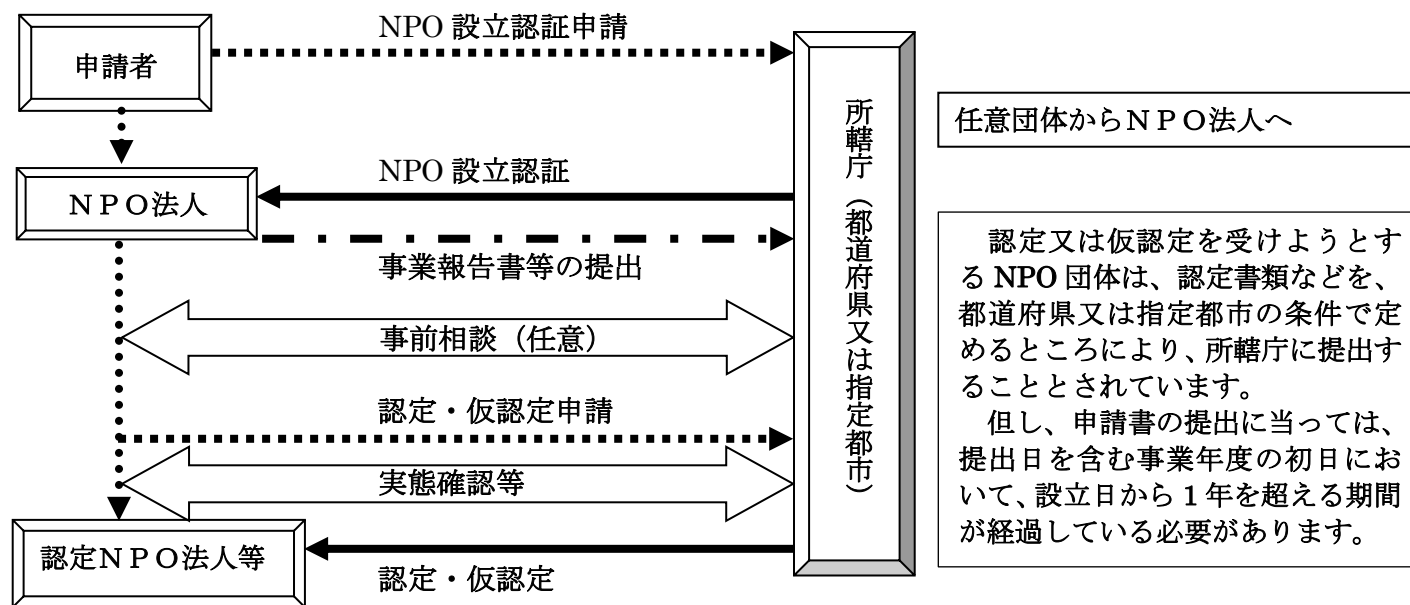
日時：10月14日(火) 18:30~20:00

場所：南相馬市市民活動サポートセンター 会議室

※説明会の募集締切 10月10日(金)

申込み・問合せ：南相馬市市民活動サポートセンター
電話/FAX 0244-23-5420

「認定NPO法人等になるまで」の流れ



任意団体からNPO法人へ

認定又は仮認定を受けようとする NPO 団体は、認定書類などを、都道府県又は指定都市の条件で定めるところにより、所轄庁に提出することとされています。

但し、申請書の提出に当っては、提出日を含む事業年度の初日において、設立日から1年を超える期間が経過している必要があります。

南相馬市市民活動サポートセンター通信

回覧

さぽせんNEWS

平成26年10月1日発行 No.55

～南相馬市市民活動サポートセンター～

〒975-0003
南相馬市原町区栄町二丁目20
TEL/FAX 0244-23-5420

URL: <http://www.minami-soma.com/saposen/>
E-Mail: saposen@minami-soma.com

インタビュー

夢たびと

代表 廣川 景太 さん
広報 佐藤 孝一 さん

活動のはじまりは・・・

2012年3月、ボランティアとして南相馬を訪れた廣川さんと佐藤さんが知合いました。ガレキ撤去などの活動をしているうちに、メディアを通して見ると、実際自分の目を通して見る状況との大きなギャップを感じました。マイナスのイメージがついたこの地域の十年後を考え、何か新しいものを生み出していければと、活動はスタートしました。



「夢たびとBASE」の手作りウッドデッキ

活動の様子は・・・

まずは、「知ってもらおう活動」とし、2012年8月に地域の状況を撮影し各地で現状を訴えるトークライブ等開いたところ「情報が無い」「現地へ行ってみたいがきっかけがない」等の声がかえってきました。そこで、2013年6月に現状を知るツアーを企画、参加者は原町区内の家に民泊し、この地域を知り好きになってもらいました。また、「夢たびとBASE」として全国から若者が南相馬に訪れ、地域の人と触れ合うきっかけを作るコミュニティスペースを作るプロジェクトを始動しました。このような現状をツイッターなどで発信し、協力者を募り全国各地から様々な人が集まってきました。

現在、これらの活動に加えて、「ベジたびと」として、この地区の農産物を各地でPR・販売をしています。インターネットを通じて、生産者と消費者をつなげていければと考えています。

メッセージ・・・

”南相馬大好き！”一少しでも多くの方がここを訪れて、好きになって欲しいと思い活動しています。地域の皆さんと、一緒に活動していければと思います。

取材レポート おじゃましました!

原町手話サークル耳通口
会長 井関 正典さん

8月2日(土)から、7回シリーズで開かれている「しゅわ教室」に、おじゃましました。この教室は、サークル発足の翌年の昭和53年から、震災と次の年を除いて毎年開かれている教室です。

今年の教室には、12名の参加がありました。聴覚障害者とベテランの会員がペアになって参加者に教えます。毎回テーマが決まっており、今回は、「疑問・数の表現」についてでした。

テーマにそって様々な表現を練習して覚えます。最後に先生と簡単なやりとりを行います。指が数や疑問、その答えも表現できることに驚きました。

この教室を通して、手話を覚えるだけにとどまらず聴覚障害者とのコミュニケーションにつながっていくのだと感じました。

